

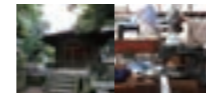


埼玉 地域交流フットパスプロジェクト

埼玉 地域交流フットパスプロジェクトは、埼玉県武蔵野銀行と、新座市にキャンパスを置く立教大学観光学部が埼玉県の地域活性化を目的として、平成19年7月に締結した産学連携協定によって発足しました。

本プロジェクトでは、立教大学観光学部の学生が中心となり、武蔵野銀行の支援と地元協力の協のもと、埼玉県東部のJR線、東武鉄道、秩父鉄道の沿線から比較的歴史のあるまちを選定して、調査をし、多世代にわたる人々が観光交流を通じて充実した生活を送ることができる新しい楽しみ方を創造する事業を行っています。

表紙写真



毘沙門堂 (株)小林商店



松栄堂書店 羽生市北部
近くの小路

ぶらって 羽生

利根川流域のまち、羽生。そんな羽生の“まち”を歩いてみると、どこか好奇心をくすぐられるような、不思議な気持ちを味わうかもしれません。一歩路地に足を踏み込んでみると、様々な景色が存在し、そこはまるで迷路のようです。また、まち並みからは、羽生の様々な“色”を垣間見ることができます。繊維産業のまちの色、古い文化が残るまちの色、のどかな田園風景が見られるまちの色…。どこか懐かしさを感じさせてくれるまち並みは、私達に「おかえり」と語りかけてくれるでしょう。あなたも藍染めのように、自分だけの羽生の“色”に染められてみませんか？



ぶらって幸手

平成20年度には観光活性化プロジェクト第1弾として、埼玉県幸手市における「まち歩き」に焦点をあて、歴史や観光資源についての現地調査を行い、まち歩きマップ「ぶらって幸手」を作製するとともに、まち歩きイベントを開催致しました。

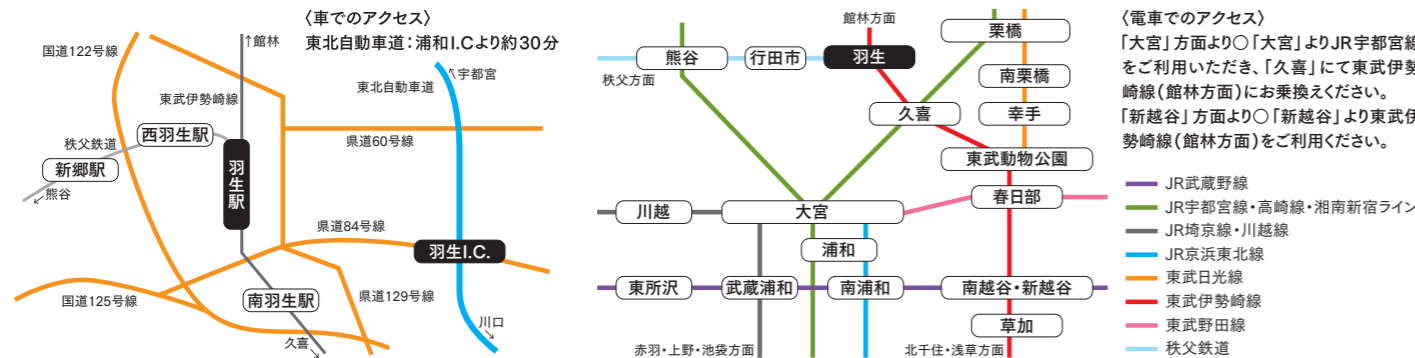


あなた色に染まるまち

ぶらって羽生

平成21年度に第2弾として、埼玉県羽生市を調査地に選定し、現地調査を行った上で、小冊子「ぶらって羽生」を作製いたしました。この冊子では、学生が実際に羽生を訪れて感じた「あの頃」や「懐かしさ」をキーワードに様々な内容を盛り込んであります。

まち歩きの際は、履きなれた靴を選ぶなど、歩きやすい格好でどうぞ。リュックサックやポシェットなどの鞆は両手が自由になるのでお勧めです。また、休憩や水分をとるのを忘れないようにしましょう。車などに注意し、各自責任を持ってまち歩きを楽しんでください。



ぶらって羽生

武蔵野銀行、立教大学観光学部産学連携事業「埼玉 地域交流フットパスプロジェクト」まち歩きMAP あなた色に染まるまち 初版2009年12月



この印刷物は環境にやさしい「大豆インキ」を使用しています。

問い合わせ 立教大学リサーチ・イニシアティブセンター(新座) TEL048-471-6790 FAX048-471-6677
制作:武蔵野銀行・立教大学観光学部 協力:羽生市・羽生市商工会・埼玉県 編集:中村正人編集事務所 デザイン:望月昭秀+戸田寛(NILSON) イラスト:あやほ印刷:望月印刷株式会社



武蔵野銀行、立教大学観光学部 産学連携事業 埼玉 地域交流フットパスプロジェクト



ぶらって羽生 まち歩き MAP

オリジナル

羽生のまちを歩いてみると、
たくさんの「色」があることに気がきます。
普段見過ごしてしまうような細い路地にも、足を踏み入れたら、
また違った羽生の「色」を発見できるでしょう。
あなたは、どの道を気に入るでしょうか。
自転車や自動車ですらで郊外まで足をのばしてみれば、
もっと羽生を楽しめるはずですよ。
この地図は未完成です。あなただけのお気に入りを見つけて、
どんどん地図に書き込んでみましょう。
そうすることで、地図は完成します。
地図を片手に、キャラクターが歩くルートに捉われず、
あなたの思うままに歩いてみてください。

MAPの使い方

まずはキャラクターと一緒に歩いてみる。

「いいもの発見!」と思ったら、マップに書き込む。
(人に教えるもよし、自分だけの秘密にするもよし。)

自分なりのまち歩きMAPにしていく。

羽生の魅力! 小路!!

👁️ 抜け道小路

駅から羽生を歩いてまわる際に大きな通りを歩くのではなく、あえてこの細い道を抜けてみてください。

👁️ お散歩小路

車が少なく、緑が多い、お散歩に最適な小路です。蔵や味のある建物など、見どころ満載のこの道でゆっくりお散歩を楽しんでみてはいかがでしょうか?

👁️ 架け橋小路

この小路を慌ただしい大通りと不思議な雰囲気が漂う八雲神社を結ぶ架け橋に例えました。ここを抜けて、タイムスリップしたような気分を味わってみてはいかがでしょうか?

👁️ 隠れ家小路

入るのをためらってしまうような、知る人ぞ知る小路です。どこにつながっているのかわからない、ドキドキ感が探検している気分にはさせてくれます。ひっそりと存在する、この小路を通れば、あなたは小路マスターです。



一緒に歩こう! ~まち歩き例~

- 🔍 1. 孫と歩く! 歴史散歩 P.3
- 🛒 2. 母と娘の帰り道 P.4
- 🐱 3. ぶちよーの秘密の路地めぐり P.4
- 📷 4. しーちゃんのとっておきの1枚 P.5
- 🚗 5. 本郷さんのあの日の思い出 P.5

蔵が多くあるね。
その理由は
コラム(p.6)へ!



正覚院から1分歩けば、
左手に有限会社
ゴーリキがあるよ!



あなた色に染まるまち 一緒に歩こう!

ふと晴れた日に羽生を散歩してみよう。歴史を辿る、懐かしさに浸る、新たな出会いをする……。どのように過ごすかはあなた次第。これからキャラクターたちが、それぞれのテーマに合わせて、羽生の魅力を紹介してくれるよ。みんなは羽生で何色に染まるかな?



※キャラクターページはストーリー性を持たせるため、まち歩きMAPのルートとは多少異なる点があります。

歴史を知ると見方がぐんと広がる!

1 孫と歩く! 歴史散歩

おじいちゃんと孫の健太郎はとても仲良し。今日は健太郎の宿題「羽生について調べよう」につきあい羽生市内を散策している。



橋宗一郎
74歳、祖父、羽生在住



橋健太郎
8歳、小学生、羽生在住

羽生の人に行こう



孫 おせんべいはいろんな味があるよ!羽生は小説「田舎教師」の舞台なんだって。まちのなかには田舎教師のモニュメントがたくさんあるよ、探してみよう!

「田舎教師」に困んだお菓子がたくさん! 御菓子のあらしき

☎048-561-0224 ☒中央3-2-12
🕒9:00~19:30 休月

羽生は小説の舞台!!

「四里の道は長かった。その間に青織の市の立つ羽生の町があった。」田山花袋の名作「田舎教師」の書き出しであり、羽生市は小説の舞台である。小学校教師の主人公のモデルとなったのは、市内にある建福寺に下宿していたという小林秀三であり、記念碑も建てられている。「田舎教師」は2009年で出版100周年を迎えた。

建福寺



祖父 この場所で生まれた清水卯三郎は、1867年(明治元年)のバリ万博に民間人として初めて出席し、西洋文化を日本に広めた人です。お店の横に生誕の碑がありますよ。

懐かしい雰囲気漂うリカーストアいりやま

☎048-561-0012 ☒中央4-2-28
🕒9:00~19:30 休日・祝



孫 利根川流域のまちとして羽生市は発展を遂げたんだね。葛西用水にかかるこの「城橋」は昭和33年からかかっているんだよ。お店の名前の由来になっているんだね。

昔ながらの駄菓子屋さん しろばしや焼きだんご

☎048-561-0905 ☒中央4-12-13
🕒8:00~19:00 休月

孫 清水卯三郎にちなんだ卯三郎饅頭が人気(写真右)。羽生名物「いがまんじゅう」も! おみやげにおすすめ(写真左)。



手作り和菓子の店 菓子司まつのや

☎048-561-0242 ☒中央4-8-19
🕒9:00~18:30 休月



清水卯三郎像がお出迎え(市民プラザ)

さあ、みんなで行こう 市民プラザ

☎048-560-3111 ☒中央3-7-15
🕒8:30~22:00 休無休(年末年始12/29~1/3を除く)

ふと路地を進むと迎える... 八雲神社

☒中央4-3

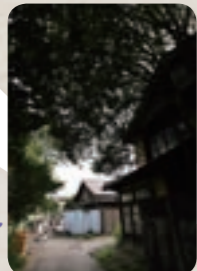
祖父 市の無形民俗文化財に指定されている羽生夏祭りが行われる歴史ある神社です。普段はねこたちがよく集まっているようですよ。

ふと路地を進むと迎える... 八雲神社

☒中央4-3

羽生は自由民権運動の発祥に深く関係があるらしい!

水鏡がすてき!



お散歩小路にて



佐々木菜緒
17歳、娘、女子高生、羽生在住

佐々木景子
45歳、母、パート、羽生在住



母 よくお茶にきます。レトロな雰囲気のカウンターがお気に入り。今日はお友達とランチにきておしゃべりしたらもうこんな時間!お店の外で菜緒にばったり。

おしゃれなお店で、ホッと一息 カフェ・タイム

☎048-561-2491 ☒中央1-1-29
🕒8:15~20:00 休土



娘 お店の方が気さくなお店。お母さんが仕事の日の夕飯はたいていここのお惣菜。またコロッケ?とか文句言うけど、本当は大好きなの。これはお母さんには秘密!

今晚のおかずはなににしようかな? 田口肉店

☎048-561-0722 ☒中央1-10-29
🕒9:30~19:00 休日



母 私の子供の頃からある日用品のお店。お店の壁のキンチョールの看板はなんだか懐かしい。菜緒にはこの気持ちわかるかしら?

キンチョールの看板が目印! さかい屋

☎048-561-0108 ☒中央1-8-37
🕒9:00~19:00 休月

2 母と娘の帰り道

あちこちから晩ごはんの匂い、夕暮れ、そんな時間を歩こう。

羽生市在住の母娘。夕方、駅前のカフェでばったり遭遇。一緒に帰るのはなんだか久しぶり。晩ごはんは明日の朝ごはんの買い物をしなくっちゃ。

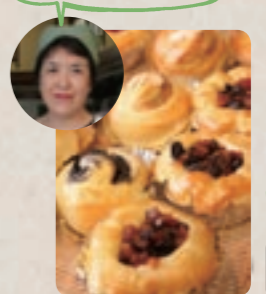


おやつにぴったり あまじろ

☎048-561-6731 ☒中央1-8-34
🕒11:00~19:30 休月

娘 羽生市イメージキャラクター、ムジナモンの焼印がかわいい。味は小倉と白あんの種類、1個50円というのうれしいね。

お待ちしています♡



母 こだわりの水を使ったという手作りバターロールは絶品!豊富な種類と100円というのうれしい。うちの朝ごはんの定番です。

見ているだけでもおいしそう! バターロール

☎048-561-0311 ☒南5-3993
🕒11:00~売切まで 休日・月・水

こんなものあったよ



一度はあるあるサイズの間違い! (グリーンング店看板)



よ〜く見たら可愛いお顔に見えませんか? (駅前小路にて)

みんな小さな坂に要注意!! (市営駐車場)



珍しい地ウイスキーあります 住吉屋酒店

☎048-561-0056 ☒中央3-1-13
🕒9:00~19:00 休日

お店の外観が目止まるにや〜。たくさんの地酒がならんでいるよ。中でも地ウイスキーは珍しいにや。今夜の晩酌に1本くださーい。

居酒屋付近

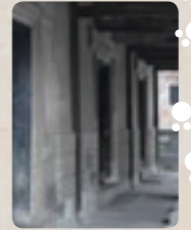


羽生のまちには路地がたくさん! 本当に入れるの? なにがあるんだろう? 好奇心にまかせてぶらっと入ってみると新しい出会いがあるかも...



くすぐられる好奇心♡

ぶちよー
?歳、飼い猫、羽生在住(ビギナー)



火の見やぐら付近

通りまーす!

この路、本当に通れるの?ちょっと冒険してみよう。

3 ぶちよーの秘密の路地めぐり

飼い主の引っ越しで、幸手市から羽生市へ。お気に入りスポットを探すべく市内をまわら散策中。路地が気に入っている。「課長」から「部長」にまさかの出世。



ちょっと一杯 小松屋別館

☎048-561-0563 ☒中央2-4-11
🕒11:00~22:00 休月

織維産業が盛んだったころ、2階のお座敷には芸者が来ていたとか。お寿司をつまみながらちょっと一杯。幸せだにや〜。

4 シーちゃんの とっておきの1枚

休日は愛用の一眼レフカメラを持って、まちを散歩するのが好きな女子大生シーちゃん。今日は羽生に初上陸!さてさて、何を撮影するのかな?



ピンク色の工場発見!



水の見やがら



昔ながらの本屋さん。お店に行くとき看板娘のネコのランちゃん(左上の写真)がお出迎え。お気に入りの一冊を見つけに行こう。

お店の看板ネコはいるかな?
松栄堂書店

☎048-561-0419 ☑中央1-2-11
🕒9:00~20:00 閉月

羽生は繊維産業で栄えたまちなんだって!詳しくはコラムを見てね。(次ページへ)



煙突につられて来てみたら銭湯発見!羽生唯一の銭湯なんだって。私はなんと銭湯初体験!

大きなお風呂でさっぱり
羽生浴場

☎048-561-3034 ☑中央1-11-5
🕒16:00~22:00 閉月・金



可愛いケーキがたくさんあるよ!店内でいただくときのコーヒーのサービスもすてきだね。「むじなも」をお土産に買って帰ろう!

お店で食べるとコーヒーのサービスも
ロアール

☎048-561-3937 ☑中央3-1-20
🕒9:00~19:30 閉月

市民プラザで無料レンタルあり(台数限定)



自転車

葛西用水沿いをサイクリング!風をきって気持ちいい。のどかな風景も夕暮れの河川敷もなにかさすてき。

足をのばして...
郊外にも魅力を探そう



道の駅はにゅう
☎048-560-1010 ☑上新郷7066
🕒8:00~20:00* 閉なし
※駐車場・公衆トイレは24時間利用可能



キヤッセ羽生
☎048-565-5255 ☑三田ヶ谷1725
🕒10:00~17:30(4月~10月) / 10:00~17:00(11月~3月) 閉月



車で



お勧め「大盛り」天婦羅は一杯450円!野菜は優しく食べやすい。

この一杯で大満足
小川ゆでめん

☎048-561-0468 ☑中央2-2-18
🕒8:00~20:00 閉月

お店の方があたたかい手焼きせんべいの店
七二〇屋

☎048-561-0723 ☑中央2-5-3
🕒9:00~19:00 閉火



子供の頃に遊んでいた懐かしいおもちゃがたくさん。見るのに夢中になって時間を忘れてしまおうくらいです。子供にお土産を買って帰りますかね。

子供の夢!老舗おもちゃ屋!
飯田屋

☎048-561-0449 ☑中央3-5-27
🕒9:00~19:00 閉月

長谷川静香(シーちゃん)
20歳、大学生、埼玉在住



1枚目の写真は毘沙門堂の隣の神社から撮影したよ!羽生の景色は最高だね。



地粉100%のうどん屋さん。メニューは並・大・特大・超特大があるよ!どのサイズを選ぶかは自分のおなかの虫にきいてみよう。

こだわりの一品
とちぎや

☎048-561-1432 ☑中央1-6-14
🕒11:00~18:00 閉月



並は一杯250円!



本郷大作
36歳、銀行員、埼玉在住

5 本郷さんの あの日の 思い出

昔はみんな子供だった。なつかしいあの頃を思い出さず。

仕事で羽生を訪れることが多い本郷さん。今日はいつもより仕事が早く終わったので、ちょっと羽生のまちを散歩してみることに...どんな発見があるのでしょうか?

みんな知ってる!? 羽生の歴史と文化

繊維のまち
羽生について
僕が簡単に
説明するよ!



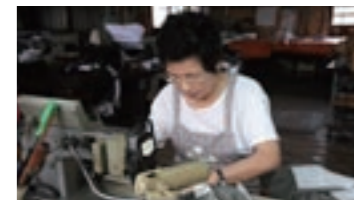
藍染の未来を担う若大将
藍田染五郎(藍染職人)

昔

から羽生のまちは繊維産業が盛んだったんだ。羽生の歴史はまさに繊維産業の歴史。特に藍染は有名で、江戸時代には既に市が立って大変なにぎわいを見せたといわれているよ。木綿を藍で染めた「青縞(あおじま)」という織物があるんだけど、この生産はもともと農家の副業として発展したんだ。農閑期に自家製の綿糸を紡いで紺屋で染めた後、それを織って市で売ったのが始まりといわれているよ。青縞を織る職人は「織り子」と呼ばれて農家の女子の内職だったんだ。明治時代に入ると製糸所ができ、羽生の繊維産業は最盛期を迎えて、中でも足袋の生産量は全国でもトップクラスだったんだ。昭和になると足袋ばかりでなく作業着や和装衣服を作るなど、だんだんと衣服のまちに変わっていった。町工場も小規模ながらたくさんできてまちは活気に満ちていったんだよ。けれども悲しいことに関東大震災や第二次世界大戦で衰退してしまった。それでも「武州中島紺屋」にみられるように、今でも羽生のまちの人の心には藍染の文化が受け継がれているんだ。まちなかにも綿糸などを保存していた蔵が残っていたりと繊維産業の名残がちらほら!ぜひ探してみてね。



(株)小林商店の外観



(株)小林商店で働いている様子



武州中島紺屋の中島安夫氏
武州中島紺屋
羽生市大字小松223番地
Tel 048-561-3358

羽

生の町並み、いいですね。私のような中年にはたまらない風景です。羽生にある、昭和の繊維産業華やかかなりし頃の名残ともいえる風景を、僕はかつてどこかで見ていたからです。職工さんがミンと向き合い服を仕立てる場所を、工場(こうじょう)と言ってしまえば野暮ですね。鉄とかコンクリートとか、重厚長大な「産業」を連想してしまいますので、ここはやはり工場(こうば)と呼ぶべきでしょう。木造の工場(こうば)に響くミンの音、一度聞いてみたいです。それにミンの音って、私の世代にとっては家庭の音、母の音とも言えます。いまは遠くなった、幼いとき、そして懐かしい昭和を思い出させてくれる音でもあります。

また羽生の寺とか神社にも私はそそられます。江戸時代、埼玉県の神社は神仏習合の色彩が強かったのですが、明治政府の神仏分離政策により、寺と神社は明確な線引きがなされてしまいました。しかし羽生では、毘沙門堂の脇に神社があったりと、この線引きが曖昧なままのようなどころがあります。江戸時代の、小さな町の寺社の風景が楽しめるのも、羽生の魅力の一つといえるでしょう。

羽生は、どの世代の人でも懐かしさに出会える魅力ある町です。かつてあった、幼いときや、青春に出会える町です。とくに昭和を垣間みたい人、お勧めですよ!



有限会社ゴーキ



毘沙門堂



八雲神社

昭和のまち
繊維のまち
羽生の路は
見所満載!



中西先生
(立教大学観光学部教授)

宗教学専門
種類大好き